

『いづみ探訪』 - 地域案内人養成講座 地域いきいきプロジェクト

泉区中央市民センター（地区館）×泉区中央市民センター（まち部）

1 事業概要

泉区中央市民センターの管内には、多くの貴重な歴史的・文化的史跡が点在しています。しかし、住民の転入が多い地域のため、地元の史実が風化してしまうことが懸念されています。一方で「地域の歴史を学び、次世代に伝えたい」といった、伝承に意欲的な地域住民もいます。そこで本事業は、史跡を活かした地域づくりを推進するために、地域の歴史や文化を学んでガイドするボランティアを育成する講座として令和2年度から始めました。

3年間の複数年事業の最終年となった今年度は、次年度以降に受講生が学んだ成果を地域に還元できるよう、より実践的な内容を重視して実施してきました。



2 令和4年度の活動

6月には、受講生たちが七北田地域の史跡を巡りながら、1人1か所ずつ3分間で史跡の模擬ガイドを実施しました。受講生たちは、伝えたいことを短くまとめたり参加者に伝わりやすい話し方を考えたりと1人1人が工夫し、ガイドボランティアとしての実践力を身に付けました。

また10月には、市民センターまつりの来館者に館内の「ふるさと生活ギャラリー」の展示物を紹介する役目を受講生の中から有志で募り、参加した受講生は更なる力をつけました。

11月からは、次年度以降の活動に向けて、七北田周辺の史跡を紹介するガイドマップ制作に取り掛かっています。制作にあたっては、受講生が個別に調べたことをもとに史跡のガイド原稿を書いた後で受講生同士が互いの原稿を見合いました。そして、小学校中学年児童が見ることを想定して、難しい言葉を分かりやすく言い換えたり内容を吟味したりする話し合いを行いながら、よりよいものに仕上げています。

3月には、完成したガイドマップを持って七北田周辺を歩き、3回目の模擬ガイドを実施予定です。

3 成果と課題

本講座は5月から12月まで9回実施し、受講生自身がガイド原稿を作成したり、七北田のかつての様子を知る方々にインタビューして発表し合ったりするなどの活動を通して、地域の歴史への知識をさらに深めることができました。



また、個々の学びにとどまらず、市民センターまつりで「ふるさと生活ギャラリー」を案内した体験は多くの来場者を得て、失われつつある町の歴史を伝える意義を再認識する機会となりました。

現在、今までの学びの総決算として小学生にも興味を持ってもらえるようなまち歩きマップを作成中ですが、限られた紙面の中で何を伝えるべきか、分かりやすい表現の工夫などを試行錯誤している段階です。

4 今後の展望

この事業で学んだ受講生が、地域案内人としてまち歩きガイドマップを活用しながら地域在住の親子に史跡を説明して回る講座を令和5年度に複数回開催する予定です。また、地域案内人と市民センターや地域との連携や案内人同士の学び合いのために団体を組織するなど、長く地域に還元できるような仕組みを構築していきたいと考えます。

